



大内中だより

きつきの丘

【学校教育目標】
「あいさつ日本一を目指して」

令和5年4月11日 第2号

雨の入学式、44名の新入生を迎えました。

新入生 誓いの言葉

やわらかな暖かい風が、この緑豊かな大内の大地に、春を運んできました。今日のよき日に、私たちは、新たな目標と大きな希望を胸に、中学校の門をくぐりました。本日は、このような盛大な入学式のもと、私たち新入生を迎えてくださり、本当にありがとうございます。この大内中学校に入学できることを、誇りに思います。

これから、私たちは中学生としての自覚をもち、3年間、勉強や部活動、生徒会活動などに精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

私は、中学校でがんばりたいことが3つあります。

1つ目は、あいさつです。大内中学校は、「あいさつ日本一」を目指しているとうかがいました。私自身、小学校の委員会活動であいさつ運動に取り組んできました。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などと進んであいさつをして、大内中が思いやりと感謝の心にあふれる学校になるよう、がんばります。

2つ目は、学習です。中学校は小学校より授業時間が長くなり、内容も難しくなると思ひますが、中学校でも学習することを今から楽しみにしています。毎日の授業では進んで発表して、積極的に取り組みます。そして、友達に質問したり教えたりなどして、みんなで学び合っていきたいと思ひます。また、家庭学習をおこたらず、毎日、予習や復習をして取り組んでいきたいと思ひます。

3つ目は、部活動です。私は、科学部に入ろうと考えています。部活動を通して科学について学び、目標に向かって仲間とともにがんばります。

今日から私たちは、大内中学校の一員となります。「自立・協調・躍進」の校訓のもと、学習や生活を日々ふりかえり、改善して、自分自身を高めていきたいと思ひます。また、互いの考えを尊重し、ともに活動しながら、学校や地域に貢献していきます。さらに、将来のなりたい自分をイメージして、得意分野だけでなく、どんなことにも積極的に挑戦します。そして、先輩方が築いてきた輝かしい伝統をしっかり受け継ぎ、新しい歴史の1ページを創ることができるよう、努力していきます。

校長先生をはじめ先生方、先輩方からご指導いただきながら、大内中学校の立派な生徒になるよう努力することを決意し、誓いの言葉といたします。



新入生代表 ○○ ○○



裏面もご覧ください

生徒歓迎の言葉

桜の花も咲き始め、春の訪れを感じる今日、新たな一步を踏み出す44名のみなさん、ご入学おめでとうございます。

制服に身を包み、中学生となったみなさんは今、どのような気持ちですか。新しい生活への期待に胸を膨らませる気持ち、不安で落ち着かない気持ち、色々な気持ちを抱いていることと思います。私自身も入学当初は、学年のみんなと仲良くなれてくれるのだろうか、学習についていくことができるのだろうかといった、不安を感じていました。しかし、先輩方や先生方に優しく接していただき、楽しく学校生活を送る毎日となりました。みなさんは、何も心配することはありません。今日から私たちの仲間です。わからないことがあったらいつでも声をかけてください。

ステージの上を見てください。大内中学校には3つの校訓があり、私たちはこの校訓のもと日々の生活を送っています。自ら考え行動する「自立」、仲間と助け合う「協調」、心と体を鍛え、様々なことに挑戦する「躍進」です。この3つを胸に刻み、中学校生活を送っていきましょう。

さて、仲間と絆を深めるにはコミュニケーションをとらなければいけません。そして、その第一歩となるのが挨拶です。大内中学校では「あいさつ日本一」を目指し、全校で挨拶の向上に取り組んでいます。いつでも、どこでも、誰とでも、挨拶を交わすことができるのが大中生の強みです。ぜひみなさんも、朝の玄関から明るく爽やかな挨拶を交わし、気持ちよく一日をスタートさせましょう。

大内中では、運動会、学校祭、球技大会などの行事を自分たちで計画し、作り上げていきます。これらは一年生から三年生まで、学年を問わず交流し、絆を深める大切な場となっています。楽しみにしててください。

これからたくさん体験をしたいと思います、すべての行事は三回しか体験できません。行事以外にも「今日」という日は今日だけです。だからこそ、仲間と過ごす一日一日を大切にしてください。新しい仲間とたくさん学ぶ、互いに高め合っていきましょう。そして、私たちと一緒に、よりよい大内中学校を創っていきましょう。

新入生のみなさんのこれからの学校生活が輝かしく誇り高きものとなることを願い、歓迎の言葉といたします。

生徒代表 ○○○ ○○



A組担任
○○先生



B組担任
○○先生

入学式 校長式辞

今年は春の訪れが早く、ここ堤台（つつみだい）の桜もまもなく満開になろうとしています。

今日の佳き日に、由利本荘市教育委員会学校教育課長 ○○○○様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、保護者の皆様とともに、令和五年度入学式を挙げてまいりますこと、深く感謝申し上げます。

四十四名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を職員、在校生一同、心より歓迎します。今日から皆さんは、大内中学校の生徒です。大内中学校の一員として、自覚と責任をもって生活してほしいと思います。

この三月まで皆さんは、小学校の最高学年として、小学校の中心となって活躍してきたことを聞いております。小学校六年間で身に付けたことに自信と誇りをもって、大内中学校でも、活躍してくれることを期待しています。

さて、本校の学校教育目標は、「あいさつ日本一を目指して」です。そして、この目標は、三つの校訓「自立」「協調」「躍進」とつながっています。

- ・自ら考え自ら判断し、進んで挨拶や学習などに取り組む「自立」の力、
- ・思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める「協調」の力
- ・たくましい心と体を持ち、常に自らを高めるために挑戦する「躍進」の力

を、授業や係活動、生徒会活動、学校行事などを通して、生徒一人一人が身に付けていくことで、「あいさつ日本一」に近づくことになると考えます。

ここで、新入生の皆さんにお願いがあります。

生活や学習、部活動等も含めて、何事にも、失敗を恐れず、挑戦し続けてほしいということなのです。

女子フィギュアスケーター、渡辺倫果（わたなべ りんか）選手の話を紹介します。十五歳から十八歳まで海外に練習拠点を移しましたが、2021年までは、国際大会への出場機会もあまりなかった選手です。

日本に帰国した彼女に新しいコーチがつき、少しずつ考え方が変わっていきます。

そのコーチはインタビューで「新しいジャンプを習得するまでの練習は全部失敗なんです。だから、失敗した時に、怖くなったり不安になるよりも、次どうしようとか、その先への意識の持っていく方が一番教えている部分ですね。」と答えています。

やがて彼女は「失敗は、自分を磨き、輝かせるもの」と考えるようになりました。

昨年度のロンバルディア杯で優勝すると、グランプリシリーズカナダ大会に欠場した選手の代役、つまり補欠で出場し、グランプリシリーズ初出場で初優勝。3月の世界選手権に日本代表として出場するなど、一躍トップスケーターの仲間入りを果たしています。

「失敗は、自分を磨き、輝かせるもの」

挑戦しなければ失敗することはありませんが、自分自身の成長、自分磨きにはなりません。夢や志を持ち、目標を掲げ、どうすれば達成できるかを考え行動することが大切です。

また、挑戦したけど、うまくいかないかったり、躓（つまづ）いたりするのは、困難なことに挑戦している証であり、当たり前なのです。また、その躓きの中にも、新たな気づきや学びがあると考えてみませんか。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。大切なお子様を三年間お預かりします。制服に身を包んだ我が子の凛々しい姿に、感激もひとしおのことと思います。これからは多感な時期を迎え、悩みや乗り越えなければいけない課題も多岐にわたります。本校では、生徒の悩みや課題に寄り添い、保護者との協働で生徒が課題を克服できるような指導・支援をすることを大切にしています。小さなことでも気軽に連絡、相談していただければ幸いです。

また、地域の皆様、いつも大内中学校を支えていただき、ありがとうございます。地域に学び、地域づくりに貢献できる学校を目指したいと考えております。引き続き、地域の宝である生徒たちの成長を見守り、支えていきたいと思っております。

結びになりますが、教職員一同、生徒一人一人をかけがえのない存在として大切にし、生徒の指導・支援に全力で当たること、保護者・地域と共に、生徒の成長を支える学校づくりに努めることをお誓い申し上げ、式辞といたします。

令和五年四月七日

由利本荘市立大内中学校長 松渕 公明